

## **a** と **one** の違いについて

このファイルでは、同じという意味を持つ **a** と **one** の違いについて考えよう。

**a** と **one** の違いは、以下の文の違いについて考えると分かりやすい。

まず

## 例文①

I have **a** son.

私には一人、息子がいる。

→ある特定の息子を一人抜き出して、

その息子がいると言っている

→他にも息子がいる可能性がある。

私

息子が何人いても、「私に一人、  
息子がいる。」  
という事実が変わりはないね。

息子

息子

息子

息子

息子

息子

息子

息子

息子

これに対して

## 例文②

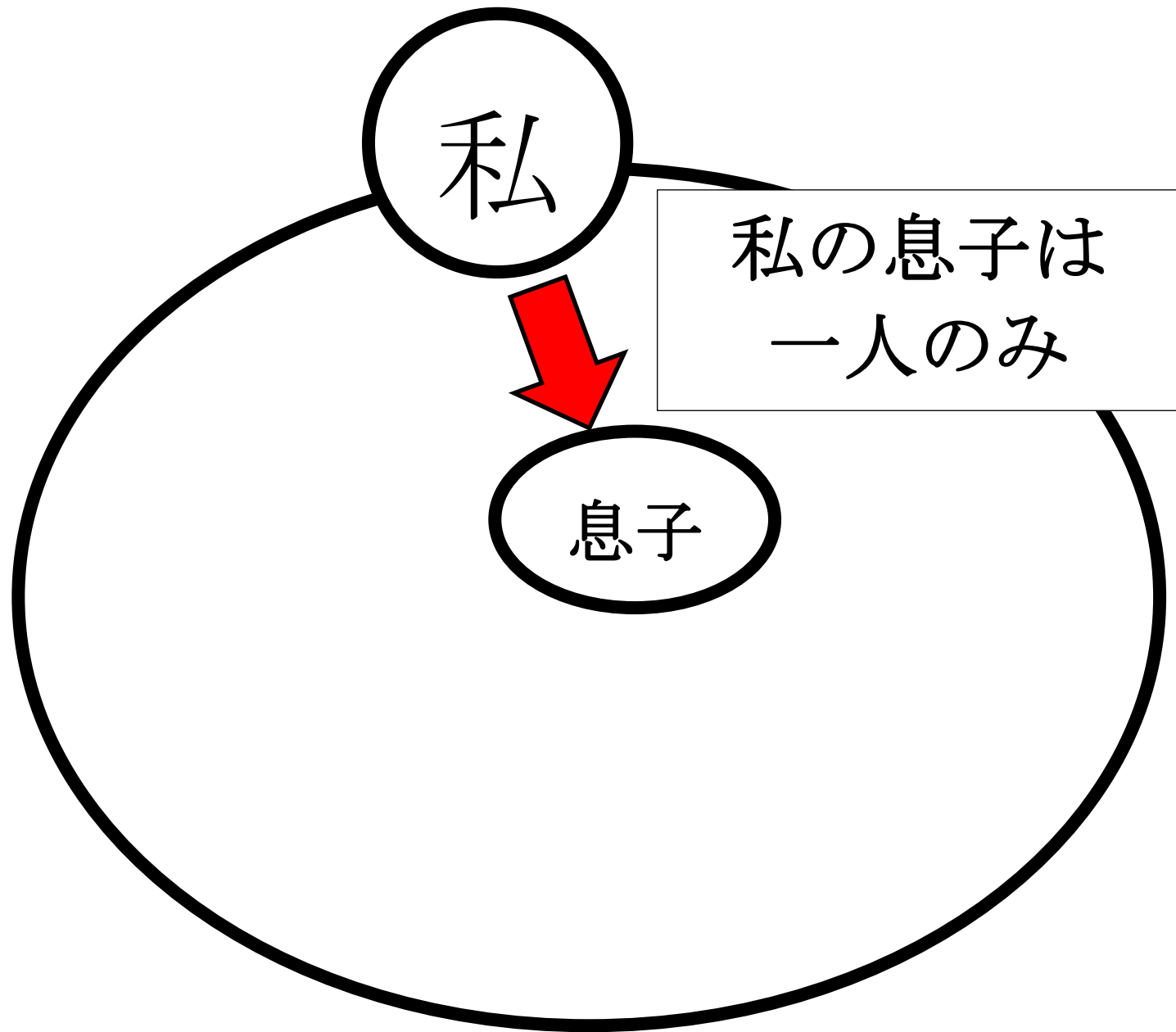
I have **one** son.

これは文字通り、

私には「一人息子」がいる。

ということだ。

→他に息子は無し。



この2つの違いを公式化すると、

I have **a** son.

= I have **one**

**of many** sons.

となる。

I have **one**

一人の  
息子がいる

**of many sons.**

たくさんいる息子の内

ということだ。

なので例えば、

There is **a** sun in the sky.

空に一つの太陽がある。

とするのは間違いだ。

なぜならこれを公式に当てはめると、

There is **one of many** suns in the sky.

と、「**many suns** (たくさんの太陽) が存在する内の一つの太陽が空にある」ということになってしまうからね。



なので、

There is **one** sun in the sky.

とするか、

There is **the** sun in the sky.

とするのが正しい。

(この **the** には「唯一の」という意味がある)

さらに言えば、

This is **a** pen.

↑ これも公式に当てはめると、

This is **one of**  
**many pens.**

となる。

なので、話し手の認識としては、この世には**同種の別のペン**が存在する、という前提で話しているといえる。

a と one の違いはこんな感じかな。

moon (月) とか earth (地球) など、1つしかないので a は付けられないね。